

Canva教育版(自治体版)で授業や校務をもっとクリエイティブに!

多くの先生方から利用希望があったデザインアプリ「Canva(キャンバ)教育版」が、令和7年9月1日(月)に宮城県教育企画室からの通知のとおり Google Workspace と連携し、宮城県から付与されているアカウントで試行利用ができることになりました。Canva は、インターネットを通じて利用するオンラインツールで、誰でも簡単にいろいろなデザインを作ることができるアプリです。

【特 徴】

- ①デザイン見本、テンプレートや素材が豊富 ②直感的な操作性
- ③インターネット環境があれば、どこからでも、どの端末でも作業が可能で、データは自動保存されます。

例えば、こんなコンテンツの作成で役立ちます。

- ①プレゼンテーション資料作成 ②学校行事のポスターやチラシ制作 ③動画制作 ④名刺やロゴ制作

今号では Canva の試行利用に当たって、確認しておきたい事項を2点お伝えします。

(1) Canva へのログインについて

Chrome 等のブラウザで、Google Workspace に宮城県から付与されているアカウント【～@gs.myswan.ed.jp】でログインします。アプリランチャー内下方に表示された Canva のアイコンをクリックします。

これまで、個人で【～@gs.myswan.ed.jp】のアカウントで教員版(個人版)を利用していた方も、特別な操作の必要なく、より機能が充実した Canva 教育版(自治体版)に移行されます。

Google

Google Workspace にログインした後、ページ右上の9つの点アイコン(アプリランチャー)をクリックすると、Canva にアクセスできます。



(2) Canva の児童生徒の利用について

児童生徒の利用に関して、現在は試行利用期間であることを踏まえ、県立学校では校長の判断となります。市町村立の学校においては、所管する市町村教育委員会の判断になります。

学校現場での「わかりやすい授業」と「魅力ある学校・学級経営」をサポートするツールになるはずですが、デザイン経験がなくても、すぐに使うことができるのが魅力です。
まだ操作経験がない先生は、ぜひ一度試してみませんか!

中央教育審議会 教育課程企画特別部会が論点整理を公表

中央教育審議会において、次期学習指導要領に向けた基本的な考え方が議論されていることは先生方も新聞等の報道で耳にしていることと思います。令和7年9月25日の資料では、第1章から第8章で構成されている「論点整理」が示されています。生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りすることができる、民主的で持続可能な社会の創り手を「みんな」で育むという基本的な考え方を提起しています。また、生産年齢人口が急減する中、テクノロジーを含むあらゆる資源を総動員して、全ての子どもが多様で豊かな可能性を開花できるようにすることが、我が国の未来のために不可欠であり、「よりよい学校教育」を通じて「よりよい社会」への移行を図っていくこと、すなわち私たち教員への期待感が表れています。ぜひ、目を通してみてください。

※論点整理は、右の二次元コードからご覧ください。



実践事例紹介

遠隔授業推進パッケージ「えんかくいろは」研修会報告 利府町立利府小学校 教諭 東 洋太郎

宮城県総合教育センターの令和6年度専門研究の教育の情報化研究グループが開発した、遠隔授業推進パッケージ「えんかくいろは」をご存じですか。「えんかくいろは」は、遠隔教育の知識や技術が分かる動画集「えんかく事典」と簡単に研修ができる「研修いろは」の2つのコンテンツで構成されています。今年度は、研修パッケージの開発者が県内の学校に赴き、研修会を実施する取組を行っています。



※研修パッケージは、上記二次元コードからご覧になれます。

今号では、大崎市立岩出山中学校で実施した研修会について、報告します。

研修会実施校	大崎市立岩出山中学校	実践の対象	教員								
研修会概要	○研修会の様子 「研修を受けた先生方が遠隔授業の方法等を理解すること」「遠隔授業が必要な生徒に適切な学習の機会を提供すること」の2点について学びたいという、研修担当の先生からの要望を基に研修会を実施しました。 研修会では、学年毎に4名ずつのグループを編制し、「研修いろは」の研修段階(図1)に沿って進めました。参加者は、「ろの段」の遠隔授業で起こり得る出来事をロールプレイ体験しました。遠隔授業を実践する先生や児童生徒の立場になり、「遠隔授業中に席を立ちたい児童生徒がいた場合、どう対応するのか」などのミッションに取り組んだり、グループで話し合った内容を発表・共有したりするなどして、遠隔授業への理解を深めていきました。(図2)										
	<table><tr><th>研修段階</th><th>内容</th></tr><tr><td>いの段 い</td><td>イメージしよう!</td></tr><tr><td>ろの段 ろ</td><td>ロールプレイ体験をしよう!</td></tr><tr><td>はの段 は</td><td>つばよう・共有しよう!</td></tr></table>		研修段階	内容	いの段 い	イメージしよう!	ろの段 ろ	ロールプレイ体験をしよう!	はの段 は	つばよう・共有しよう!	
	研修段階	内容									
	いの段 い	イメージしよう!									
ろの段 ろ	ロールプレイ体験をしよう!										
はの段 は	つばよう・共有しよう!										
図1 研修いろはの研修段階とその内容		図2 研修会の様子									
○研修会後のアンケート結果 ※事後アンケートの結果より一部抜粋(アンケート回答者:12名) ① 研修会を通じて、遠隔授業に必要な知識や技術を知ることができましたか。 【できた8名、どちらかといえばできた4名、どちらかといえばできなかった0名、できなかった0名】 ② 今後、遠隔授業を実施する上で、必要なことや足りないことなどを考えることができましたか。 【できた6名、どちらかといえばできた6名、どちらかといえばできなかった0名、できなかった0名】 今回の研修会では、時間の都合上、研修段階「ろの段」のロールプレイ体験は、1回の実施でしたが、研修会に参加した先生方から、遠隔授業に必要な知識や技術について知ることができたと肯定的な御回答をいただくことができました。											
読者へのメッセージ	岩出山中学校で好評だったこの研修会を、私が勤務している利府町内の小・中学校の情報教育指導員の先生方に実施しました。特に、各所属校での研修会を進める「研修担当者」の立場を想定し取り組んだところ、「本校の研修会でぜひ活用したいと思った」や「学校でも参考にします」等の意見をいただきました。 「えんかくいろは」のホームページ内にある研修担当者向けページ(図3)では、研修会を実施するための事前準備の方法や進行方法を紹介しています。 こちらのページを御覧いただき、多くの学校の研修会で、ぜひ本パッケージを御活用ください。										
	 研修いろはの使い方について、説明した動画もあります。										
	図3 研修担当者向けページ										

(編集後記) 今号は、Canva(キャンバ)について取り上げました。

ぜひ、授業の資料づくりや各種便りの作成などで活用してみてください。[第44号担当 大泉]